




## 芦崎ジオサイト モニタリングマニュアル

モニタリングを実施した場合は、様式「モニタリング確認書」へ必要事項を記入の上、定点観測の写真を添付し、下北ジオパーク推進協議会事務局まで提出をお願いいたします。

1. 簡易カルテ				
名称	芦崎	エリア区分	大湊・芦崎	
所在地	むつ市	トイレ	なし	
アクセス	JR 下北駅から車で約20分			
駐車場	なし	看板	なし	
説明	<p>芦崎は陸奥湾に伸びる砂嘴であり、現在の大湊地域の成立に欠かせない地形である。釜臥山系から流れ下った土砂が陸奥湾の海流により運ばれ、完新世(1万1700年前～現在)に形成された。砂嘴を構成している堆積物中には、枯死した植物が分解されずに残された泥炭が認められる。放射性炭素年代測定によりこの泥炭が約4300年前の植物でできていることがわかり、芦崎の砂嘴の形成は完新世の中頃以降も続いていたと推定される。</p> <p>基地設置を決めた旧日本海軍によって芦崎への立ち入りが制限され、結果として芦崎の動植物が保護されてきた。水源池公園の海望館や釜臥山の山頂からは見事な砂嘴地形の全体像が望める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
想定される事態	砂の流出や海面上昇による侵食の影響で、砂嘴の形状が変化することが想定される。			

2. 定点観測

サイト内で見られる特に重要な景観、保全すべきものを定点観測対象物とする。下記定点観測対象物を定点観測場所から撮影し、撮影した日付を記載し協議会事務局へ報告する。

定点観測対象物「芦崎全景」



定点観測の理由

芦崎の全景が見られる場所であり、芦崎全体の地形の変化の過程を記録するため。

定点観測場所



釜臥山スキー場の頂上付近にある小屋の横から対象物に向かって撮影

### 3. その他確認事項

異状があった場合は異状箇所を撮影し、現場の詳細を様式「モニタリング確認書」に記入の上、協議会事務局へ報告する。また、緊急性の高い異状については、確認時に事務局までご連絡ください。

### 4. 異状発見報告があった場合

モニタリング実施者から異状報告があった場合は、下記の流れで関係団体へ報告を行う。

事務局は、現場の状況を確認し、必要に応じ、ホームページやチラシなどで地域住民や来訪者に対し周知を行う。

